

平成24年山武市教育委員会第4回定例会会議録

1. 期 日 平成24年4月19日(木)
2. 場 所 山武市役所第7会議室
3. 開 会 午後1時30分
4. 出席委員 委員長 北田 正之  
委員長職務代理者 五木田 孝義  
委 員 高橋 尚子  
委 員 京相 光徳  
委 員 小野崎 一男  
教育長 金田 重興
5. 欠席委員 なし
6. 議場に出席した職員の職及び氏名  
教育部長 加瀬 芳美  
教育総務課長 渡邊 聡  
学校教育課長 宮川 欣也  
学校教育課指導室長 鵜澤 政仁  
生涯学習課長 篠崎 君子  
スポーツ振興課長 川島 勝喜  
学校給食センター所長 宮負 勲  
文化会館長 江澤 正  
公民館長 市原 修  
さんぶの森公園管理事務所長 齊藤 榮一  
  
事務局  
教育総務課総務企画係長 秋葉 一徳  
教育総務課総務企画係 山口 雅之

開会 委員長が挨拶し午後1時30分開会を宣する。

日程第1 ○会議録署名人の指名  
委員長が議長となり、小野崎委員を指名する。

日程第2 ○会議録の承認  
第3回定例教育委員会の会議録を全員異議なく承認。

### 日程第3 ○教育長報告

報告書に基づき、3月23日から4月18日までの主な業務内容について報告。(主な点は次のとおり)

- 3月 23日 臨時校長会を行った。教職員人事が確定したので確定版が配布された。山武市には新規採用が15名。定欠補21名が入ることになった。第2回東上総教育事務所教育長面接。管理職人事の最終案を提示された。3月16日に内示があり、23日に確定版が出て27日には新聞に掲載される。
- 24日 食虫植物群落守る会総会に出席した。食虫植物群落は、守る会の方なくしては維持していけない。より多くの後継者や加入を進めていきたい。多くの人に価値を知ってもらう必要がある。活動は市からの10万円の補助だけである。活動の量と比較して少ないと思う。
- 27日 第4回文化財審議会、先の議会の一般質問で真行寺嶋戸遺跡の報告をさせていただいた。委員長から審議会として、より積極的に関わっていくべきではないかと意見があり、委員もその方向で一致した。
- 28日 教職員の目標申告が提出された。一般教員を含めて提出があった。知らない教員でも書かれていることで、意欲・能力・資質が見える。学校全部で比較してみると、校長の目標が共有されている学校とそうではない学校がある。目標申告制度を利用して学校経営を行うと言う校長が多い。校長会で伝えて学校の一体感が出るようにしてほしい。
- 30日 スポーツ審議会伊藤和氏、旧山武出身の方が会長となった。年2回開かれているが、いまひとつ会の趣旨に則った意見をいただけていないと感じている。もう少し積極的な意見をいただきたい。事務局のあり方として、意見を引き出す努力が必要であると感じた。
- 4月7日 子ども会育成連盟総会、約40名という多くの参加を得た。山武市での幼少期からの取り組みを紹介した。同日、青少年相談員連絡協議会総会、懇親会があり、市長にも参加をしていただいた。
- 8日 芸術文化協会総会、私から「芸文協は、市の活性化には欠かすことのできない団体であるので大きな活動を期待したい。減免問題について一部不満を抱いている団体が脱会もやむなしと聞いているが、芸文協に属している意義や活動はなんなのか。地域・市の発展にもつながるといふ大きな意義を考えていただきたい。」とお願いをした。会長が会のことを思い減免について要望を出している。皆さんの事を思っている。会長のためにも辞めないでくださいと申し上げたが、懇親会で今後は議員にお願いして、議会質問をしたうえで減免の拡大を求めていくと述べていた。引き続き委員会でも協議が必要である。公民館へ、利用している子ども将棋教室から子どもたちから使用料をとるのはいかがかという話があった。

- 9日 山武地区校長会で役員改選があり、会長に大網小学校深田校長、副会長に豊海小学校内山校長、東金西中学校土井校長。山武市校長会会長は松尾小の鈴木校長、副会長が松尾中の北田校長・蓮沼小の石井校長。
- 10日 県教育庁会議、鬼澤教育長から教育振興基本計画を策定して3年目になる。今後は進行管理の年に入る。体験重視の教育を重視したい。防災教育やミニ集会の充実をはかり、一層、地域との連携をすすめる。通学合宿や読書活動の推進。読書活動で各学校、各教育委員会が推進活動の計画を策定してほしいと話があった。道徳教育の充実。教員の研修と修養。修養を加えたのは、教員自身の人間性を高めることが重要である。
- 11日 教育委員辞令交付で五木田委員が市長から辞令を渡され4年間の再任が決まった。市校長会議で期待を込めて確かな経営をお願いした。
- 12日 山武地区教育長協議会総会、24年度の新会長は東金市飯田教育長。副会長は芝山町五木田教育長が就任。
- 14日 スポーツ推進員辞令交付、総会と懇親会があった。印象として執行部が弱いと感じた。新しい人も入らず、ここだけに求めても改善が望めない。事務局主導でやっていく必要性を感じた。
- 16日 グラウンドゴルフ協会総会、会長から市バス利用の要望が出た。再三要望しているが満足はいける回答を得ていないと答弁をしていた。グラウンドゴルフをしている多くは50代後半から70代の方で車の運転が難しくなり、練習で足の確保が難しいために会員が大幅に減少していると話があった。今後、要望があがってくると思う。子どもたちの体験学習で多く利用している。残った1台は市長部局で活用している。耐用年数がぎりぎりまで来ている。市全体で考えていかなければならない。

委員長 議案第3号「平成24年度山武市奨学資金の貸付決定について」、議案第5号「山武市社会教育委員の委嘱について」から協議第1号「準用保護の認定について」は、公開に適さない事項であり、議案第4号「損害賠償の額を定めることについて」は議会の提案前であり、教育委員会会議規則第12条の規定により、秘密会としたい旨提案。

(「異議なし」の声)

#### 日程第4 ○議決事項

議案第1号 山武市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

学校教育課長 千葉県職員の職務の級別区分の整理に伴う改正である。「事務長」に加えて「主査」という職を加えた。今までは4級と5級の事務長が存在したが、4級を主査、5級を事務長と整理することに県で決まったた

め改正を行う。

※原案のとおり可決

議案第2号 山武市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について

学校教育課長 千葉県職員の勤務時間、休暇等に関する規則の改正に伴い、第11条第6項の第10号様式を改正する。様式中、「被看護人」を「要看護者」に変更。「当該年度における申請回数、当該年度における通算期間」が「当該要看護者の看護を必要とする一の継続する状態における申請回数、当該看護者の看護のために取得した看護休暇の通算期間」と変更になった。以前は、看護休暇は180日の範囲であったが、一人の要看護者で3年の範囲内と期間が延びた。この間は無給となる。

五木田委員 以前は、医師の診断書が必要であったと思うが変更はないか。

学校教育課長 以前と同様である。証明する物が必要である。

※原案のとおり可決

議案第3号 平成24年度山武市奨学資金の貸付決定について

教育総務課長 申請のあった4件について説明。

審査概要

- ・4件中2件は、連帯保証人について「別生計の方一名」を新たにたてることを条件に貸付けすることに決まる。
- ・来年度、受付の際に志望理由が適正に書かれているか確認し、成績基準を満たしていないものは受理しない。また、次回から面談実施を検討する。

※結果 貸付決定1名、条件付貸付2名、貸付不可1名

休憩 14時57分

再開 15時10分

議案第4号 損害賠償の額を定めることについて

スポーツ振興課長 案件の概要、相手方、損害賠償額等について説明。専決処分をし、第2回定例会に報告をする予定。

※原案のとおり承認

議案第5号 山武市社会教育委員の委嘱について

生涯学習課長 12名の委嘱。任期満了に伴い、委員を委嘱する。委員定数は12名以内、任期は平成24年4月1日から平成26年3月31日まで。委員構成は社会教育法に基づき学識経験者を7名、学校教育、社会教育、家庭教育

の関係者として団体ごとの推薦5名。学識経験者は中学校区ごとに1名ずつ。成東東中学校区のみ2名。新規委員は、学識経験者2名、団体推薦で小中学校校長会1名、市PTA連絡協議会1名。

※原案のとおり可決

#### 議案第6号 山武市文化財審議委員の委嘱について

生涯学習課長 任期満了に伴い委員を委嘱する。定数は10名以内。任期は平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年間。条例での定数は10名だが引き続き8名の委員を委嘱する。今回は1名増加して9名の委嘱を予定していたが、1名が退任したため8名の委員を委嘱する。新規は1名。

※原案のとおり可決

#### 日程第5 ○協議事項

##### 協議第1号 準要保護の認定について

学校教育課長 新規申請分と継続申請分について説明。

※原案のとおり新規10件12名、継続169件について認定

##### 協議第2号 教育委員の訪問について

学校教育課長 各園・学校を訪問し経営、教育状況を把握し支援・指導することを目的とする。小学校は教育委員、教育長、学校教育課長で訪問。こども園は、指導室長が同行し訪問する。

#### 日程第6 ○報告事項

##### 報告第1号 平成24年度園児・児童・生徒数について

学校教育課長 幼稚園 13 学級 239 名、昨年度比 11 名増。なんごうこども園 10 名増、おおひらこども園 3 歳児保育 10 名定員。小学校は、2,513 名、昨年度比 143 名減。中学校 1,597 名、134 名減。

##### 報告第2号 平成24年度幼・小・中学校の介助員・心の教室相談員の配置について

学校教育課長 4月5日現在で介助員は、小学校20名、中学校4名、幼稚園4名の計28名でスタート。小学校で2名減。新入生については状況を見ながら配置をする。心の教室相談員については、要望のあった学校に配置している。中学校ではその他に県からスクールカウンセラーが配置されている。

委員長 小学校の2名減はどういった理由か。

学校教育課長 継続の関係で新入生については、新規での配置となる。現段階では2名

減であるが、要望や状況をみて介助員の配置替えも検討しながら対応していく。

五木田委員 介助員の設置基準はあるのか。

学校教育課長 学校の要望に基づき、指導室で状況を確認し各学校3名までで保護者の了承がある場合に介助員をつけることとしている。

五木田委員 ひとりで背負ってしまっていて大変になってしまっている親もいる。その反対に大変でなくともお願いされることもある。状況をよく見て、聞いて配置して頂きたい。心の教室相談員の仕事の内容や資格の要件はあるのか。

学校教育課長 資格はない。不登校の対策として配置している。教員と共に家庭訪問で話を聞いたりしている。

五木田委員 教員免許は関係ないのか。面接での採用か。

学校教育課長 そうである。研修をして、このように対応してほしいと学んでいただき配置している。

五木田委員 介助員も研修をしていると思う。介助員とはどんな仕事なのか示して、担任の負担にならないようにしていただきたい。

京相委員 特学の介助員がみられる。一番困るのは特学の数は多くない。生徒1人で先生が2人の場合がある。一般学級での介助員が必要でないかと感じている。多動の子どもの担任に配慮して欲しい。

五木田委員 報酬は時間給となっているのか。

学校教育課長 一時間900円である。

五木田委員 心の教室相談員は毎日働いているのか。

学校教育課長 週29時間となっている。

#### 報告第3号 平成24年度東上総教育事務所の訪問について

学校教育課長 平成24年度東上総教育事務所の訪問について説明。山武北小学校の所長訪問11月2日、成東中学校9月28日、松尾中学校の事務所訪問9月28日に変更。

#### 報告第4号 平成24年度山武市校長会の役員について

学校教育課長 平成24年度山武市校長会役員について説明。

#### 報告第5号 平成24年度山武市少年海外派遣事業について

生涯学習課長 平成24年度山武市少年海外派遣事業について説明。期間は6泊8日。4泊がホームステイで3日間の学校体験。派遣生は15名。募集時の作文のテーマは、海外派遣事業に期待すること、将来の希望。派遣生の負

担は10万円、引率者は3万円で食費相当額を負担していただく。

報告第6号 行事の共催・後援の承認について

教育総務課長 3月1日から29日までに承認した後援3件について報告。

報告第7号 5月の行事予定について

各所属長より、所管の行事予定について報告。

その他

- 生涯学習課長より、文化財マップについて説明。
- 指導室長より、『わたしたちの山武市』小学校3年生社会科副読本、「家庭学習の手引き」、教育委員会ジャーナルについて説明。
- 各委員及び事務局から入園・入学式の感想を報告。

7. 閉会 午後4時38分